

【知的障がい】
（釧根圏）

釧路管内

北海道釧路養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒085-0054 釧路市暁町11番1号
- 問 合 せ 先 TEL 0154-24-7827
FAX 0154-25-3439
E-mail kushiroyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.kushiroyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「今を 明日を 自分らしく 心豊かに 生きる人を育てる」
- 校 訓
「よさや持ち味を発揮する児童生徒」「豊かにかかわり合う児童生徒」
「自分から進んで取り組む児童生徒」



□ 概 要

本校は、昭和54年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。高等部は平成10年に設置され、在籍生徒は第1学年19名、第2学年25名、第3学年25名です。身辺処理能力の向上や基本的な生活習慣の確立に重点を置き、進んで物事に取り組む力や自分の気持ちを伝える力、一人一人が自分らしさを伸ばしながら生活を楽しむ力を育てることを目指して指導しています。寄宿舎では、聴覚障がい（北海道釧路鶴野支援学校）の舎生と共に生活指導の充実を図っています。

■特色ある教育活動

保護者や地域の人々の支援をもとに可能な限り社会に参加し、健康で心豊かな生活を送るための能力や態度及び習慣を育成するため、次のような生徒を育てます。

- 「見たことや感じたこと、自分の思っていることを伝える生徒」
- 「自ら積極的に働きかけ、生きる喜びを見いだす生徒」
- 「進んで体を動かし、元気に活動する生徒」

【 ひまわりフェスタ 】

保護者や地域の人に日常の学習の成果を発表する場であり、音楽や劇の発表、バザー販売、ゲームや喫茶店の運営などに取り組みます。

【 スポーツフェスティバル 】

体育的な学習の成果を発表する目的で2月に実施しています。保健体育としての取り組みだけではなく、特別活動や生活単元学習の時間の活動として、実行委員会や係活動にも取り組みます。

【 現場実習 】

卒業後の進路先を決めるために、生活介護事業所や就労支援事業所で1日～2週間、実習生として活動します。卒業後の生活がイメージできる現場実習を通して、卒業後の生活に向けた課題を明確にしています。



生活単元学習



校外体験学習



体力づくり/自立活動



現場実習



ひまわりフェスタ



見学旅行（高3）

■第1学年生徒の週時程表

【各教科等を合わせた指導に重点を置いた教育課程】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（学習準備・朝の会等）				
	体力づくり/自立活動				
2	国語、数学/自立活動				
3	作業 学習	生活 単元 学習	作業 学習	生活 単元 学習	作業 学習
4					
日常生活の指導（給食）					
5	保健 体育	音楽	保健 体育	HR/ 生活 単元 学習	日常 生活 の指 導
6	日常生活の指導（清掃・帰りの会）				

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施します。

*登校時間 8:50（月～金）

*下校時間 14:45（月～木）
13:15（金）

■教育課程の特徴

本校では、小学部・中学部・高等部それぞれの学びがつながるようにグランドデザインを作成すると共に、教育課程を編成しています。

高等部では、「各教科等を合わせた指導に重点を置いた教育課程」と「自立活動に重点を置いた教育課程」を編成しています。

どの課程においても、生徒の将来の生活を見据え、生活に生かせる力となる知識や技能、態度及び習慣を育成することを大切にされた指導を行っています。

□ 作業学習

リサイクル、紙工、清掃、手芸の4つの作業班に分かれて活動しています。1年ごとに本人や保護者と相談しながら作業班の選択をしています。

□ 生活単元学習

一連の活動を総合的、実際に学習することによって、生活に必要な知識や技能を身に付けられるよう指導しています。本校の立地を生かして、周辺の店舗や施設へ出かける学習も計画的に実施しています。

□ 自立活動の指導

「自立活動」の時間及び学校生活全般で行っています。個別の課題を設定し、各教科等と関連付けて指導します。また、自立活動教諭が配置され、生徒の学習へのアドバイスをしています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 福祉的就労～29名【就労移行支援、就労継続支援B型、生活介護 など】
- その他～2名

学校Webページ



釧路管内

北海道釧路鶴野支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住所 〒084-0924 釧路市鶴野58番92
- 問合せ先 TEL 0154-57-9011
FAX 0154-57-3390
E-mail tsurunoshien-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.tsurunoshien.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「自立をめざして 明るく 元気に 努力し続ける人を育てる」
- 校訓
「全力」「前進」「笑顔」



- 概要
本校は、聴覚障がい教育（幼稚部、小学部、中学部）と知的障がい教育（高等部）を行う学校として平成26年に開校しました。2つの職業学科からスタートし、平成31年4月から現在と同様の5つの職業学科と普通科を設置しています。設置する6学科がそれぞれ特色ある学習活動を展開し、歴史と伝統のある釧路で、自立と社会参加に向けた人材の育成を目指しています。

■特色ある教育活動 子どもまんなか～今を大切に、学びを広げ、チームで応える～

高等部の目標

- ・働き続け、地域社会で自立した生活を送るための知識や技能を育てる。
- ・様々な経験を通して自己有用感を高め、自己理解、自己選択、自己決定できる力を培う。
- ・健康的な生活習慣を身に付け、働き、地域生活を楽しむための体力を培う。
- ・釧路鶴野支援学校の一員としての自覚を促し、他者の立場を尊重し思いやる気持ちを育てる。

【 職業学科（環境・流通サポート科） 】

清掃・流通・事務に関わる実践的な学びを通して、働く力を育てます。地域とつながる活動や校内外での実習を生かし、一人一人の強みを伸ばしながら、社会的・職業的自立を目指します。

【 職業学科（福祉サービス科） 】

介護・家事援助・接客などの実践的な学びを通して、人と関わり支える力を育てます。地域とつながる体験的な学習を生かし、思いやりと専門性を高めながら、社会的・職業的自立を目指します。

【 職業学科（生産技術科） 】

セラミックスや紙等によるものづくりの学びを通して、技術力、創造力、働く力を育てます。製品づくりや地域とつながる活動を通して、達成感と自己有用感を高め、社会で活躍する力を伸ばします。

【 職業学科（情報ものづくり科） 】

ICT活用と木工・金属加工などの実践的な学びを通して、創造する力と働く力を育てます。ものづくりを通して課題解決力や協働する力を高め、社会的・職業的自立を目指します。

【 職業学科（食品デザイン科） 】

加工や調理、商品開発など食の学びを通して、創る喜びと働く力を育てます。地域とつながる体験的な学習を通して、専門性と協働する力を高め、社会で活躍する力を伸ばします。

【 普通科 】

一人一人の学びを大切にしたい探究的な学習を通して、考える力、伝える力、生きる力を育てます。地域とつながる体験的な学習を通して、主体的に社会に参画する力を伸ばします。



環境・流通サポート科
ビルクリーニング



福祉サービス科
接客の様子



生産技術科：窯業
釉掛けの様子



情報ものづくり科
金属加工（PCラック製作）



食品デザイン科
煎餅焼成の様子



普通科
認定こども園と交流学习
（総合的な探究の時間）

■第1学年生徒の週時程表

【 職業学科（環境・流通サポート科） 】

	月	火	水	木	金
1	セルフ マネジメント	セルフ マネジメント	数学	セルフ マネジメント	数学
2	情報	作業学習	セルフ マネジメント	総合的な探究 の時間	作業学習
3	音楽		家庭	国語	
4	美術		職業	外国語	
5	作業学習	保健体育	国語	理科	HR
6			道徳	社会	

【 普通科 】

	月	火	水	木	金
1	セルフ マネジメント	セルフ マネジメント	数学	セルフ マネジメント	職業
2	外国語	職業	セルフ マネジメント	総合的な 探究の時間	
3	音楽	総合的な 探究の時間	職業	数学	総合的な 探究の時間
4	美術		家庭	情報	
5	国語	保健体育	国語	社会	HR
6	コミュニケー ション		道徳	理科	

■教育課程の特徴

「地域で自立し、明るく元気に 働き続ける
人を育てる」ことを目指しています。

□ 自立活動の指導

セルフマネジメント（自立活動＋特別の教科
道徳＋保健体育：各教科等を合わせた指導）の
時間は、自己を理解し、目標達成に向けて主体
的に取り組む態度を育成することを目指した全
学科共通授業です。自分の課題や日頃の取組に
ついて教師と一緒に振り返る学習「じりつ」
と、自分の身体の変化に気付くための運動を行
う学習「チャレンジ」があります。

□ 作業学習（職業学科）

働く力を身に付けるための学習です。様々な
作業（仕事）に取り組み、働くための基礎・基
本的な力を身に付けます。地域と連携した学習
を通して、地域で働く意識を高めます。

□ 総合的な探究の時間（普通科）

地域資源を活用した様々な体験学習に取り組
み、主体的に課題と向き合うなど、自ら学ぶ姿
勢を育てます。職業など各教科等の学習と関連
付け、習得した知識を実際の場面で活用する力
を育てます。

* 登校時刻 8：45（月～金）

* 下校時刻 15：25（月～木）／14：30（金）

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 就 職 ～14名【一般就労12名（卸売小売・製造業など）、就労継続支援A型2名】
- 福祉的就労 ～13名【就労移行支援4名、就労継続支援B型9名】
- 専門学校への進学～1名
- そ の 他 ～3名（その他1名、未定2名）

学校Webページ



根室管内

北海道中標津支援学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒086-1053 標津郡中標津町東13条北7丁目15番地2
- 問 合 せ 先 TEL 0153-72-6700
FAX 0153-72-6701
E-mail n-koyo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.n-koyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

学校の目標

「社会参加・自立を目指し、生き生きと活動する児童生徒を育てる」

児童生徒の目標

「カッコいい大人になる」

□ 校 訓

「健 康」「思いやり」「意 欲」「協 力」

□ 概 要

本校は平成8年に職業学科を設置する特別支援学校として開校しました。地域資源を活用した体験的な学習を通して、卒業後の社会参加と自立に向けて一人一人の目標を達成できるように計画的に進めています。寄宿舎においては、基本的な生活習慣の確立と集団生活の中で互いに協力することや責任を果たすことを目指しています。なお、令和元年度より小、中学部を開設、令和4年度より高等部に普通科が開設されました。根室管内唯一の特別支援学校として、様々な教育的ニーズのある児童生徒が一つの校舎で学んでいるところが特徴になります。



■特色ある教育活動（設置学科：園芸科 窯業科 木工科 家庭総合科 普通科）

高等部教育目標

【職業学科】

生徒一人一人の卒業後の目指す姿に応じて、適切に社会参加と自立を目指す生徒を育てる

【普通科】

生徒一人一人の発達段階に応じて、自分らしく社会参加と自立を目指す生徒を育てる

【 生徒主体の個別の指導計画 】

職業学科は令和3年度から個別の指導計画を生徒主体の様式へ変更し、生徒と目標を一緒に考え、その成果を自分で評価したり、教師の評価を伝えたりするものになりました。「カッコいい大人」を目指してどのような力を身に付けたいのか、生徒が主体的に目標を立てられるように進めています。なお、普通科においては、生徒の実態や教育的ニーズに応じて指導目標や学習内容、手立てなどを教師が考え、保護者と確認する様式の個別の指導計画を活用しながら指導や支援を実践しています。

【 地域ニーズに応える作業学習 】

本校の作業学習は、地域のニーズに応え、地域で生徒が活躍することを目標に取り組んでいます。主に、近隣地域からの受注作業や中標津町役場や商工会議所、地元企業などと連携し、ふるさと納税の返礼品や花壇整備、製品販売等の取組を進めています。NS祭（学校祭）における即売会NSGフェスティバルは、生徒主体で企画をし、地域と連携しながら進めています。

※高等部普通科の受験資格については、原則として本校の中学部卒業（含見込）の生徒となります。



現場実習



見学旅行：東京



進路学習（職業学科）



NSGフェスティバル：地域即売会



スポーツ祭：玉入れ



作業学習（普通科）

■第1学年生徒の週時程表

【職業学科(職) 普通科(普) 普通科(重)】

	月			火			水			木			金				
	職	普	重	職	普	重	職	普	重	職	普	重	職	普	重		
1	LHR			体力づくり	体 / 力 / 自 / 立 / 活 / 動		体力づくり	体 / 力 / 自 / 立 / 活 / 動		体力づくり	体 / 力 / 自 / 立 / 活 / 動		体力づくり	体 / 力 / 自 / 立 / 活 / 動			
2	作業学習	国語	自立活動	音楽	数学	自立活動	国語	国語	自立活動	作業学習	数学	自立活動	数学	音楽			
3		作業学習	作業学習	美術 / 進路学習	美術 / 生活単元学習	保健体育	生活単元学習	作業学習	作業学習		生活単元学習						
4																	
5		生活単元学習			作業学習							作業学習	生活単元学習	作業学習	作業学習	生活単元学習	国語 / 数学
6				自立活動	作業学習					自立活動		セルフ					

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

登校時間 8時30分（月～金）

下校時間 15時10分（月～木） 13時20分（金）

■教育課程の特徴

□ 自立活動の指導

本校独自の「自立活動アセスメントシート」を活用した客観的な実態把握を基に指導を行っています。職業学科では、生徒と面談を行い、生徒自身の得意なことの理解など自己認知を高め、作業学習等教育活動全体を通して指導を行っています。普通科では、授業時数を設定して指導を行っています。

□ 進路に向けた学習

職業学科では、進路学習をとおして、ビジネスマナー等を学習し、就労に向けた準備をしています。近隣の福祉サービス事業所やグループホームを見学したり、卒業後の就労や生活について卒業生や事業所から話を聞いたりする活動を行っています。普通科では、発達段階に応じて、卒業後の生活に向けた学習を行っています。

現場実習は、第1学年は1週間、第2学年は3週間、第3学年は前提実習で最大5週間行っています。

□ 生活単元学習（セルフ）

職業学科では、毎週木曜の6校時セルフプロデュースを行っています。この時間は生徒の将来の夢を実現するために、職業調べや実現のための人生設計、到達度チェックなどを行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 一般就労（就労継続A型含む）～7名【小売、飲食、農業】
- 福祉サービス（移行支援/就労継続B/自立訓練/生活介護）～15名
- その他～2名

学校のWebページ

